

高崎市立図書館個人情報保護に関する方針（プライバシーポリシー）

高崎市立図書館(以下「図書館」といいます)は、個人情報の収集・利用・管理について高崎市個人情報保護条例等の関連法令に基づき、以下の方針により取り扱います。

個人情報の範囲

図書館で取り扱う個人情報は以下のものと定義します。

- 利用者情報
図書館利用者の氏名、生年月日、連絡先(住所・電話番号・電子メールアドレス等)等、特定の個人を識別できる情報
- 利用情報
利用者情報とともに知ることができる、貸出中・予約中の資料名、企画行事等への参加申込み、レファレンスや資料複写などの申請や問い合わせ等の情報

個人情報の収集目的

図書館は以下の目的に利用するために、個人情報を必要な範囲で収集・保有します。

- 利用者に、貸出・予約・レファレンスなどの図書館サービスを提供するため
- 遺失物等、利用者に必要な連絡を行うため
- 図書館の利用状況を統計的に把握するため（統計の集計・結果を公表する際は、個人情報を含まない形式で行います）

個人情報の管理

図書館が収集・保有する個人情報は、中央図書館長を責任者とする組織体制の下で適切に管理します。

- 個人情報への不正アクセス、盗難、滅失、漏えいを防ぐため、必要かつ適正な情報セキュリティ対策を実施します。
- 個人情報を扱う職員等に対して、必要な教育や訓練を徹底します。
- 利用券の有効期限(3年)ごとに、利用者情報の確認を行い、最新情報の維持に努めます。
- 貸出記録(誰がいつ何を借りたか)は、資料の返却を行った時点で消去します。
- 予約情報(誰がいつ何を予約したか)は、予約資料の貸出手続を行った時点で消去します。
- 予約、督促等の連絡の際には、本人以外には資料名を開示しません。ただし、小学生以下のこどもの保護者からの問い合わせは例外とします。
- WEBサービス等に使用するパスワードは、登録後は利用者本人が管理するものとし、職員による参照や変更は行いません。
- 個人情報は、その廃棄時期に達した場合には適切な方法で廃棄します。

個人情報の利用

- 法令等の規定がある場合や利用者本人の同意がある場合を除き、収集目的の範囲を超えて個人情報を第三者に提供することはありません。
- 図書館では、レファレンスデータベースの公開や図書館が発行する資料を編集する際に、特定の個人を識別できない範囲内において、保有する情報を集計及び分析に利用することがあります。また、それらによって得られた個人を特定できない二次的データに関しては、本人の同意なく、これを使用することができるものとします。
- 図書館では、行事・イベント実施の際に写真等の撮影を行うことがあります。撮影したものは、印刷物・ホームページ等の広報に活用します。活用にあたっては、本人が了解している場合を除き、個人が特定できないよう配慮して使用します。